

## 放送サービスの未来像を見据えた 周波数有効活用に関する検討の進め方について

### 1 背景・目的

- 規制改革推進会議の第二次提言を踏まえた「新しい経済政策パッケージ」（本年12月8日閣議決定）においては、Society 5.0のインフラ整備として、電波制度改革の観点から、放送事業の未来像を見据えて、放送用に割り当てられている周波数の有効活用等について検討を行うこととされている。
- 上記を踏まえ、本検討会においても、所要の検討を行うこととする。

### 2 主な検討事項（案）

- サービス提供の観点から見た放送の将来動向
  - 放送サービスの高度化・高精細化、放送・通信融合サービス、衛星放送・ケーブルテレビの将来動向など
- 社会的役割の観点から見た放送の将来動向
  - 信頼されるメディアとしての放送のあり方、災害報道への対応など
- ネットワーク・インフラの観点から見た放送の将来動向
  - 通信・放送の融合を見据えた通信インフラ面での対応など
- 上記を踏まえた、放送用の周波数の有効活用のあり方

### 3 当面の進め方

- 「放送を巡る諸課題に関する検討会」の下に分科会を設置する。
- 構成員・オブザーバは、制度・技術・社会等の幅広い有識者から、主査が指名する。
- 会議は原則として公開で行う。
- 来年1月頃に立ち上げ、以降月1回程度のペースで開催し、来年夏頃までに一定のとりまとめを得ることとする。
- 分科会の検討状況は、適宜、親会に報告するものとする。